

集中室

3人

オープンなワークスペースから、プライベートで コラボレーティブなフェイスツーフェイスの会話に移行します。



製品 ID

製品

1 CTS-MX200-K9*

Cisco TelePresence MX200 G2

2 CTS-MX200-K9 に同梱

Cisco TelePresence Touch 10

*エンドポイントを発注する場合は、MX200 G2 の壁取付キット CTS-MX200-WMK を選択してください。



Cisco TelePresence MX200 G2

小規模の多目的会議室でのテレプレゼンスを可能にします。42 インチ ディスプレイと広角カメラにより、ビデオ会議を行うときでも、室内プレゼンテーションの画面として使用するときでも、参加者全員が画面を見ることができます。



Cisco TelePresence Touch 10

Cisco TelePresence Touch を使用すると、通話からコンテンツ共有まで、会議を簡単に制御できます。

ベスト プラクティス

MX200 G2 は、最大 3 人のリモートおよびローカル セッションに使用される静かな小部屋に設置します。最も一般的なミーティングシナリオの 1 つとして、このセットアップはコスト効率が高く、ビデオ対応コラボレーションにおけるユーザのニーズに対応します。

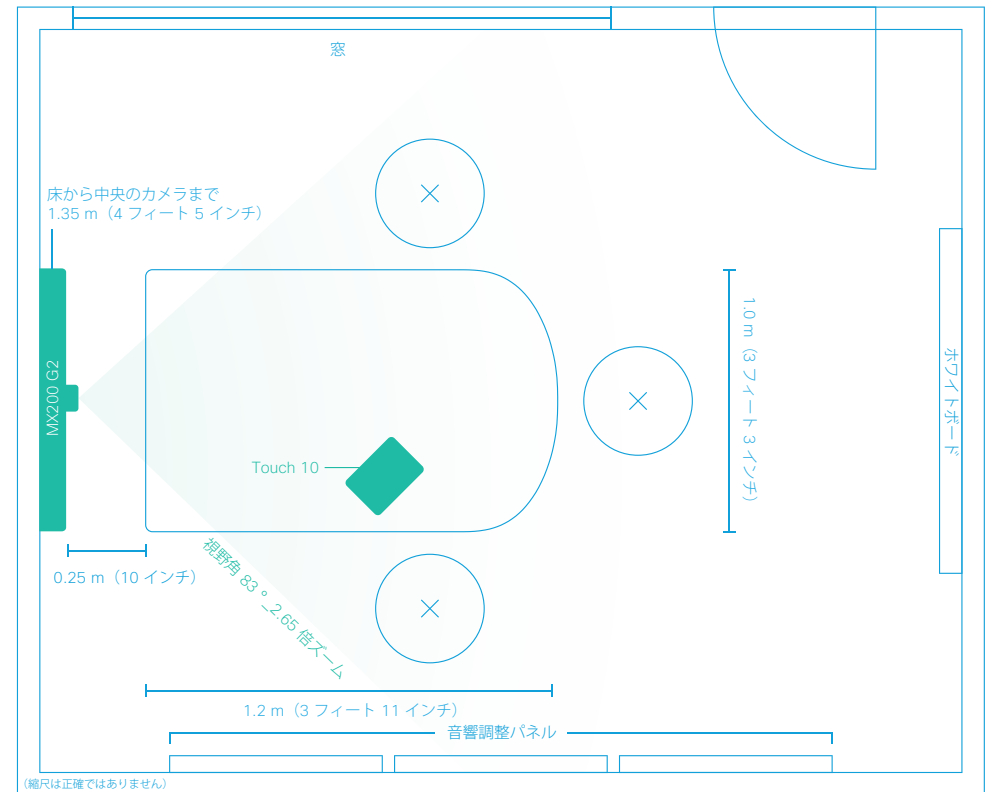
外音が遮断された、静かで心地よい部屋を作ること一番に重視しています。低残響時間と十分な吸音に加え、周辺スペースからの防音も十分に備えた部屋を構築します。遮音機能を備えていない一般的な引き戸ではなく、適切な防音加工を施したドアを使用します。

内蔵マイクは、参加者がホワイトボードを使用しても、正確で自然、かつ高品質な音声を 3 人の参加者全員から拾うことができます。

ホワイトボードは、エンドポイントの反対側の壁に配置します。そうするとホワイトボードはカメラの撮影範囲に入り、必要に応じてカメラのプリセットを使って簡単にズームできます。カメラにより、ホワイトボードのコンテンツと参加者(着席および起立の参加者の両方)が、高画質でキャプチャされます。回転椅子を使うと、システムからホワイトボードへとフォーカスを移すのも簡単です。

テーブルは、室内の心地よさと空間を最大化するために、一方の縁が丸いものを使用します。これにより、ローカル参加者は互いに対面したり、リモート参加者と対面したり、自由に動き回ったりできます。

* これは、シスコの研究開発チームによって構築およびテストされた物理構成を表したものです。他の構成も可能で、同等の性能が得られます。部屋の寸法は、必ず現地の規則や法律に従う必要があります。Project Workspace の今後のバージョンでは、さらに細部の変更と開発が行われる予定です。



シナリオとセットアップの詳細については、
次のサイトをご覧ください。

www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace_app/index.html